



～成長を見極める力～

校長 山岸 英紀

北陸の冬の厳しさを改めて実感させられる寒波でした。登校時間の変更がありましたが、子供たちや学校への影響も少なくほっとしています。また、9年生は私立高校の一般入試に臨み、受検者全員が力を発揮してくれてきたことをありがたく思います。

さて、先週は授業参観、引き渡し訓練、進級説明会にご来校いただきありがとうございました。特に6年生は、前期課程最後の授業参観に、成長した姿を見せるとともに感謝の気持ちを伝えることができたのではないのでしょうか。今年度も各行事や授業参観等を通して子供たちの活躍ぶりを見ていただきましたが、お子さん一人一人の成長を感じていただけていると幸いです。

植物学者の稲垣栄洋さんは、著書『大事なことは植物が教えてくれる』の中で、成長について次のように言っておられます。

植物には、目に見える地面の上の成長と目に見えない成長があります。

気候が良いときには、植物は上へ上へと目に見えて伸びていきます。しかし、地上の成長ができないときには、植物は下へ下へと成長します。この成長は目には見えません。

目に見える成長と目に見えない成長。もちろん、植物にとって、どちらか一方の成長があれば良いというわけではなく、地上の成長も地面の下の成長もどちらも大切です。

植物が、成長をやめることはありません。植物は常に成長しています。

大切なのは、今が上へ伸びるときなのか、下へ伸びるときなのかを見極めることでしょう。

(一部抜粋しました)

この言葉は、そのまま人にも置き換えることができると考えています。子供たちは、毎日の生活の中でどんどん成長を見せてくれる時期もあれば、悩んだり苦しんだりするときもあります。伸び悩んでいるように見えるときは、きっと下へ下へと成長して力を蓄えているのです。私たち大人が、その成長をきちんと見極めてあげることができると、蓄えた力を大きく上に伸ばしてあげることができるのではないのでしょうか。

これからも日々の学校生活が一層充実するよう努めるとともに、子供たちの成長をしっかりと見極める力を高めていきたいと思えます。



1/31 スキー学習 (5、6年) ～多くの講師の方に教えていただきました。ありがとうございました。～

